

せいりゆうう四万十

〈ポラスコンクリートブロック〉

〈施工マニユアル〉



即時脱型成型機 VCS-II

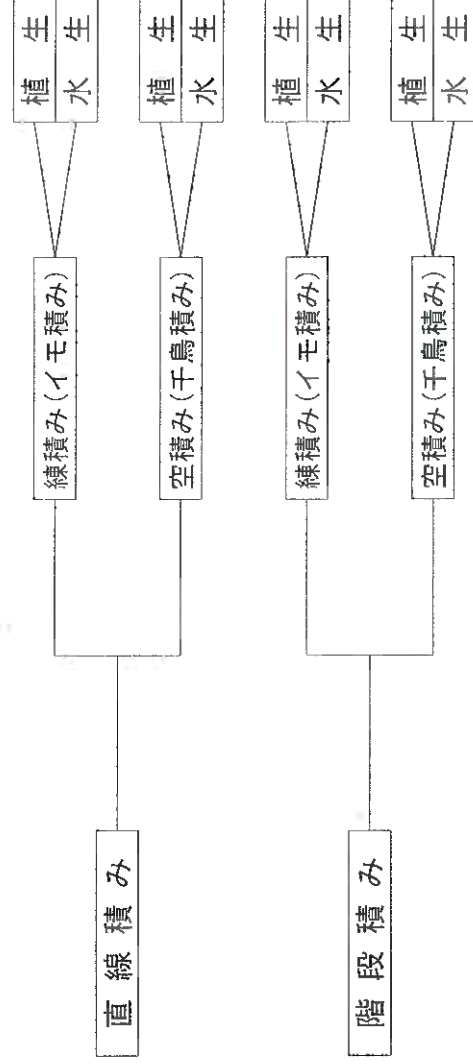


製造販売
四万十コンクリート(株)
〒786-0031高知県高岡郡四万十町床鍋812番地2
TEL0880-22-8577 FAX0880-22-8570
E-mail shimanto-con@shimanto.tv

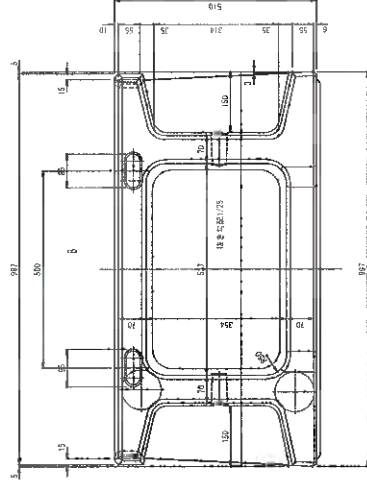
目次

1	積み工法	1
2	長張り補助寸法図	4
3	基礎版	7
4	本体吊り込み	8
5	天端コンクリート	9
6	吸出し防止材	11
7	小口止及び曲線部の調整化粧版	11

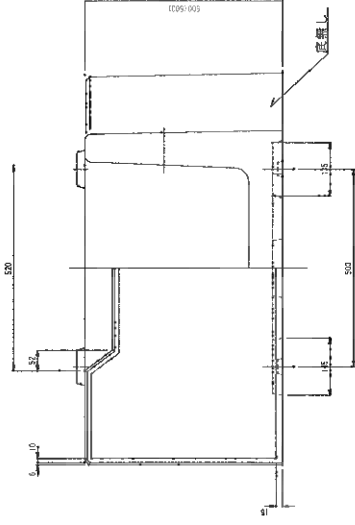
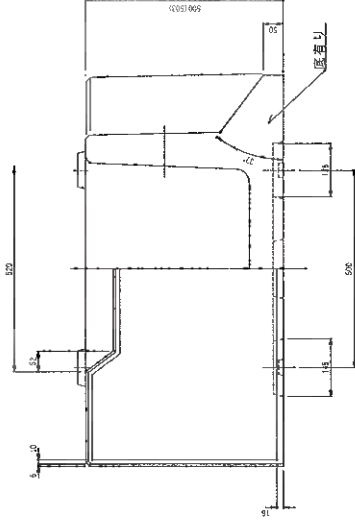
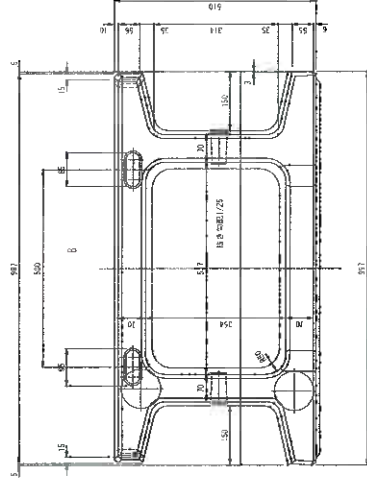
1 積み工法



<底あり>

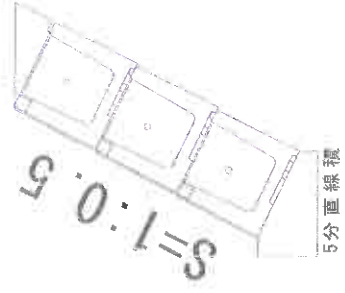


<底なし>



- ・「底有り」は面サイドにも底があり、専ら空積みに使用するものです。
- ・「底無し」は面サイドのみに底が無いもので、専ら練積みに使用するものです。(この面サイドに中詰めコンクリートを投入)
- ・「植生」は平水位以上の陸上部において、中詰めに土砂を使用することにより、植物等を繁茂させて自然環境を守るものです。
- ・「水生」は平水位以下の水中部において、中詰めに割栗石を使用することにより、小魚類等が住める生態系を守るものです。
- ・練積みの場合は、10m以内に施工目地を設けて下さい。

直線積み



直線積み(練積み)



布積 直線積
(練積)



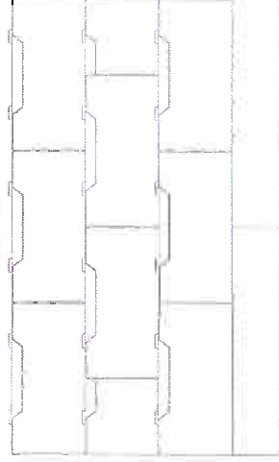
中詰コンクリート



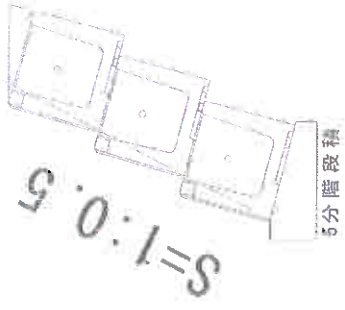
直線積み(空積み)



千鳥積 直線積
(空積)



階段積み

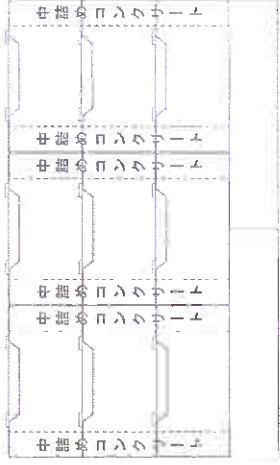


階段積み(練積み)



布積 階段積み

(練積み)



中詰コンクリート

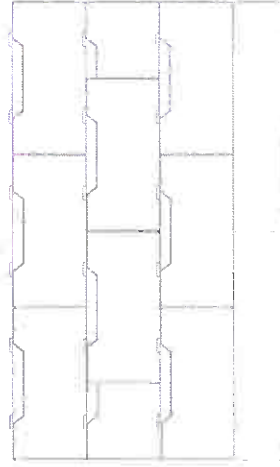


階段積み(空積み)



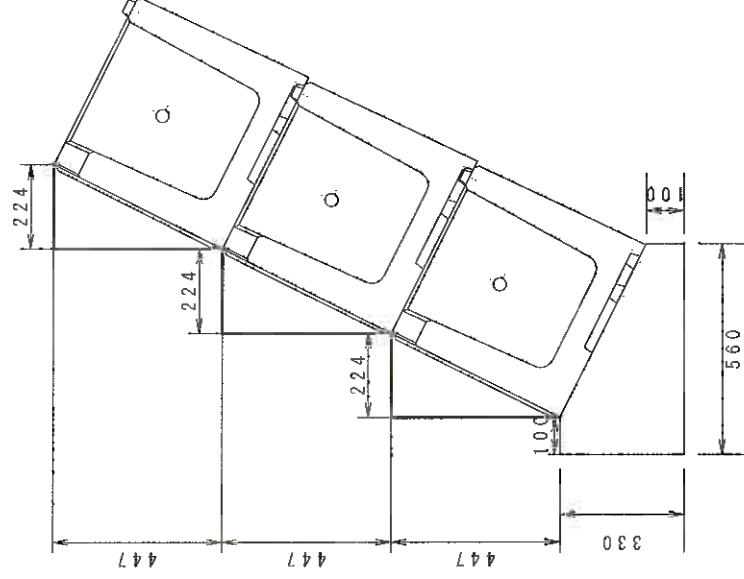
千鳥積 階段積み

(空積み)

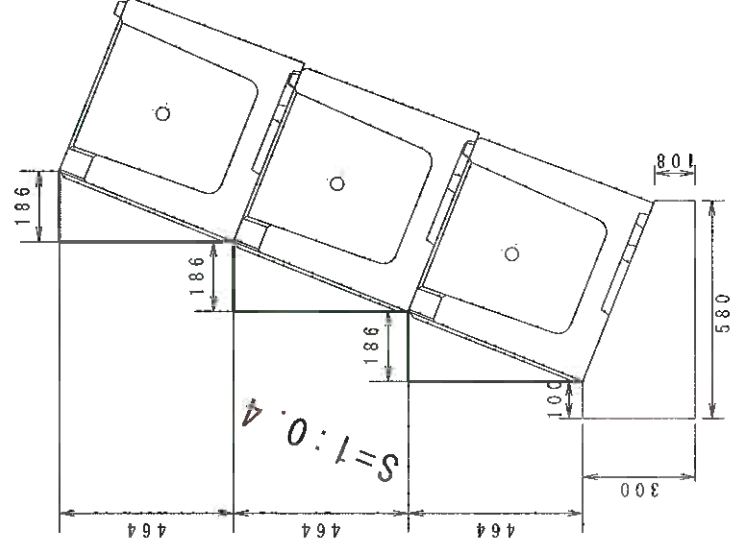


2丁張り補助寸法図

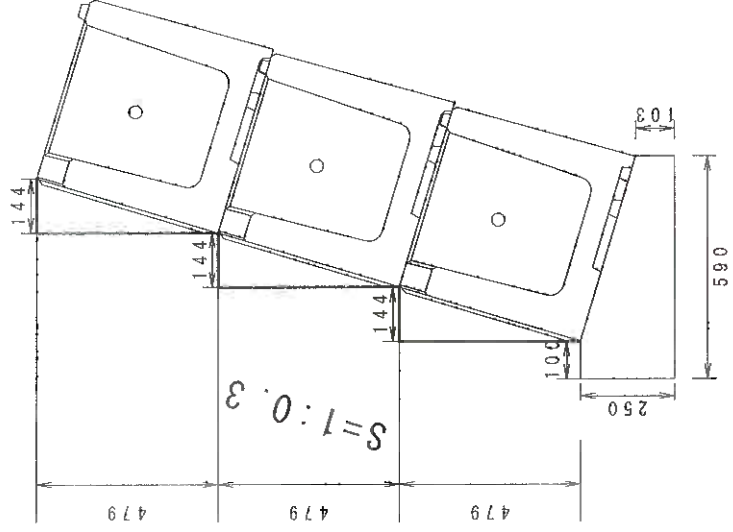
せいりりゅう四万十(直線積み) S=1:0.5



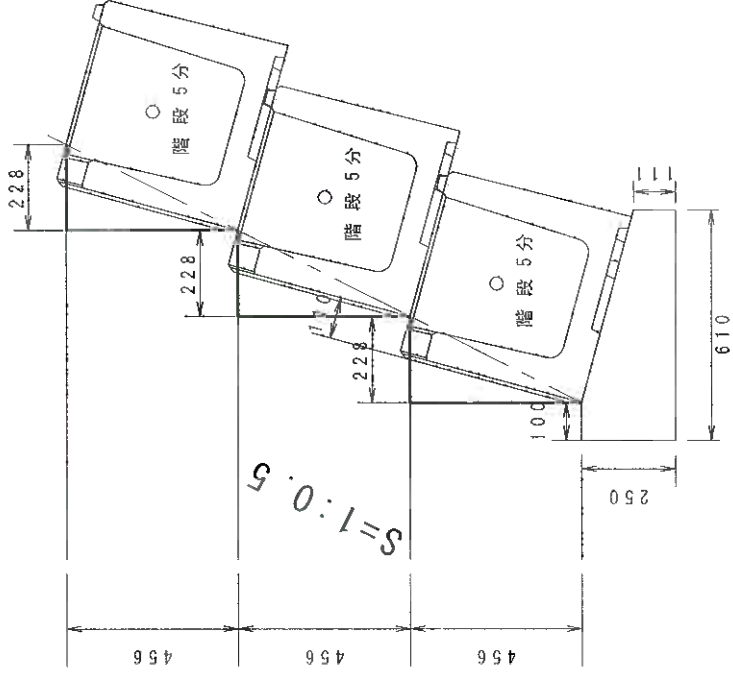
せいりりゅう四万十(直線積み) S=1:0.4



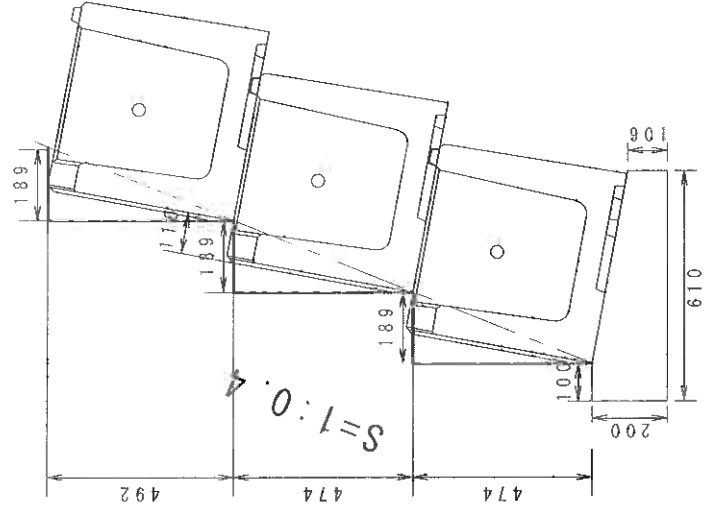
せいりゆう四万十(直線積み) S=1:0.3



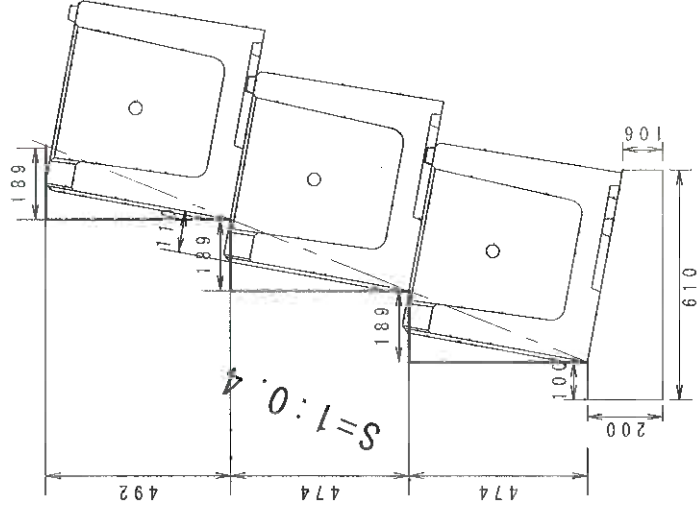
せいりゆう四万十(階段積み) S=1:0.5



せいりゆう四万十(階段積み) S=1:0.4



せいりゆう四万十(階段積み) S=1:0.4



3 基礎版

基礎板吊り込み設置

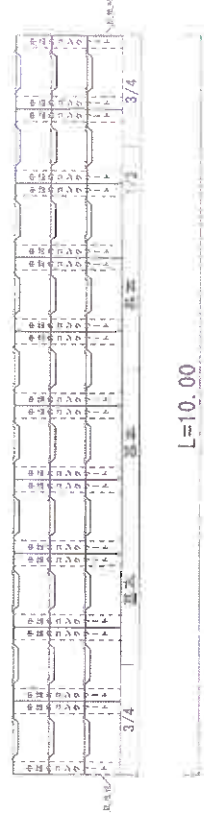
反転用基礎吊り金具で反転



基礎設置

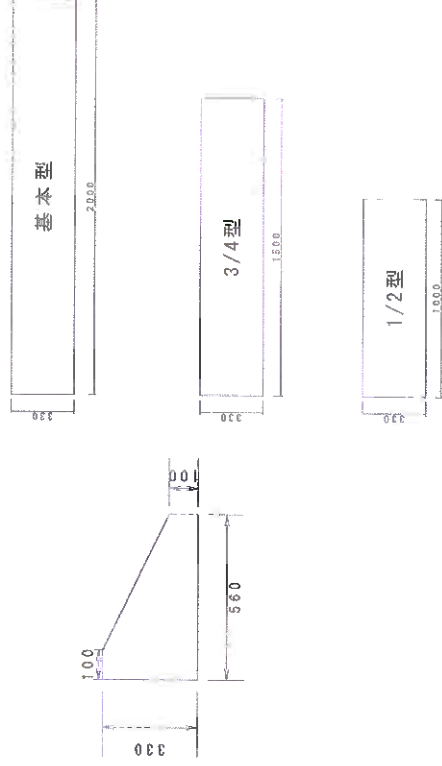


(練積)



練積みの場合の
基礎配置例

せいりゅう四万十(直練積み用基礎) S=1:0.5



基礎底面勾配付(20%)もあります。

4 本体吊り込み



高橋式傾斜自在吊り金具

水平又は傾斜角度を保ったまま吊り上げ設置できるため、作業が容易でスピーディ

水平時吊り金具設置



水平吊り込み



傾斜時吊り金具設置



傾斜吊り込み

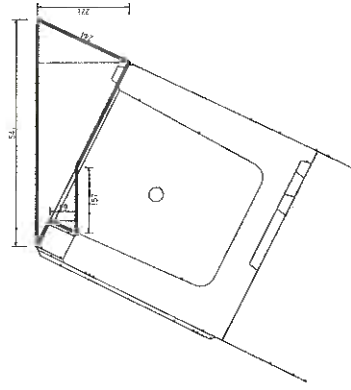


傾斜時吊り金具

斜めの状態で吊り込み設置ができるため設置作業が容易にできる

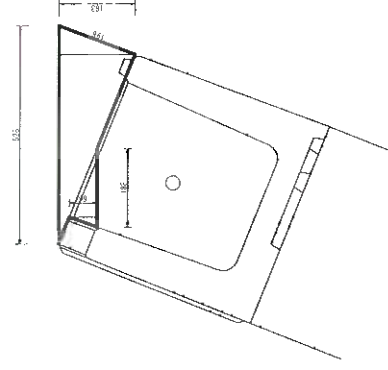
5 天端コンクリート

直線積み S=1:0.5



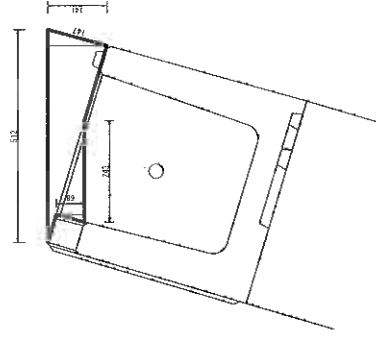
1個(1m)当り
con=0.068m³

直線積み S=1:0.4



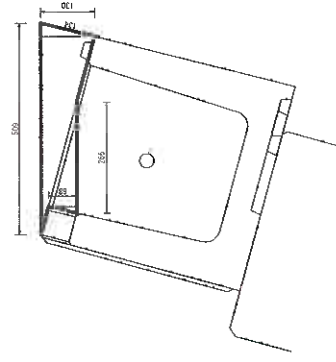
1個(1m)当り
con=0.057m³

直線積み S=1:0.3



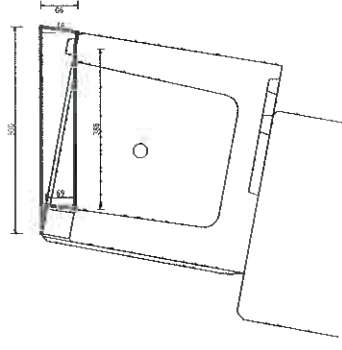
1個(1m)当り
con=0.047m³

階段積み S=1:0.5



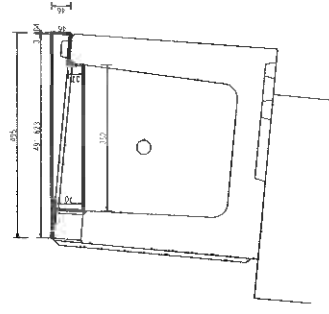
1個(1m)当り
con=0.045m³

階段積み S=1:0.4

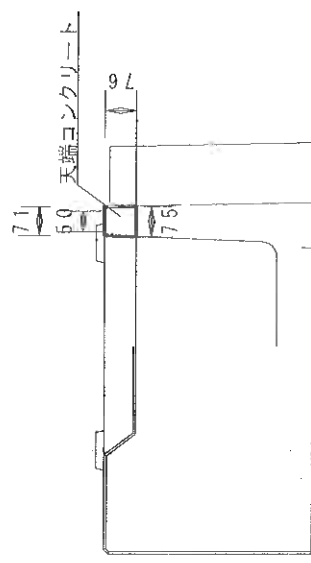
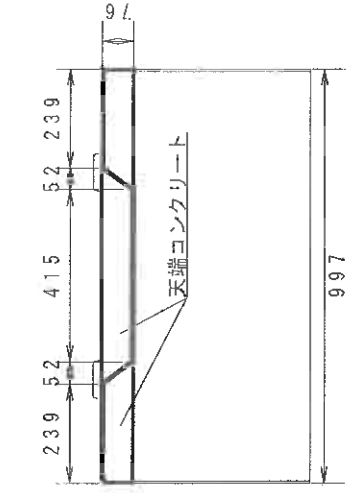


1個(1m)当り
con=0.038m³

階段積み S=1:0.3



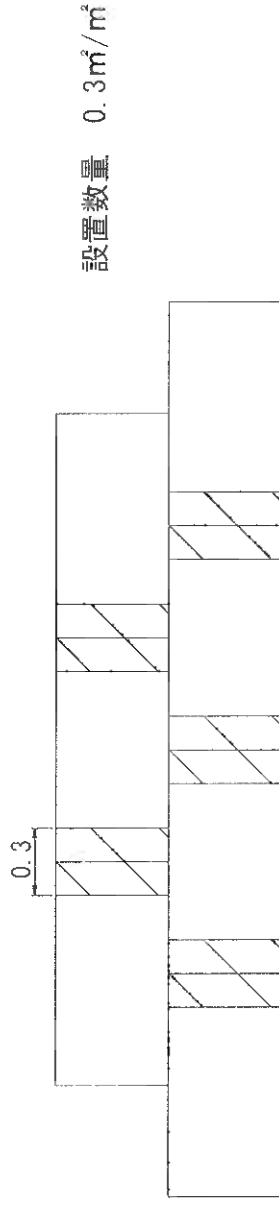
1個(1m)当り
con=0.033m³



6 吸出し防止材

- 1) ブロック背面の吸出し防止材は、空積みの場合に下図のとおり設置し、練積みの場合は設置しない。
- 2) ブロック前面の吸出し防止材は、ブロックの設置法線が曲線等により、ブロック間に開きが生じた場合に必要の応じて設置する。

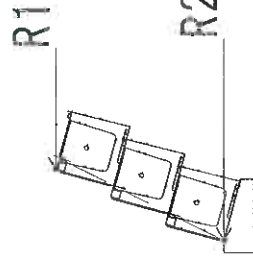
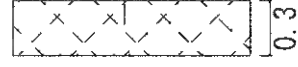
<ブロック背面(空積み)>



7 小口止及び曲線部の調整化粧版

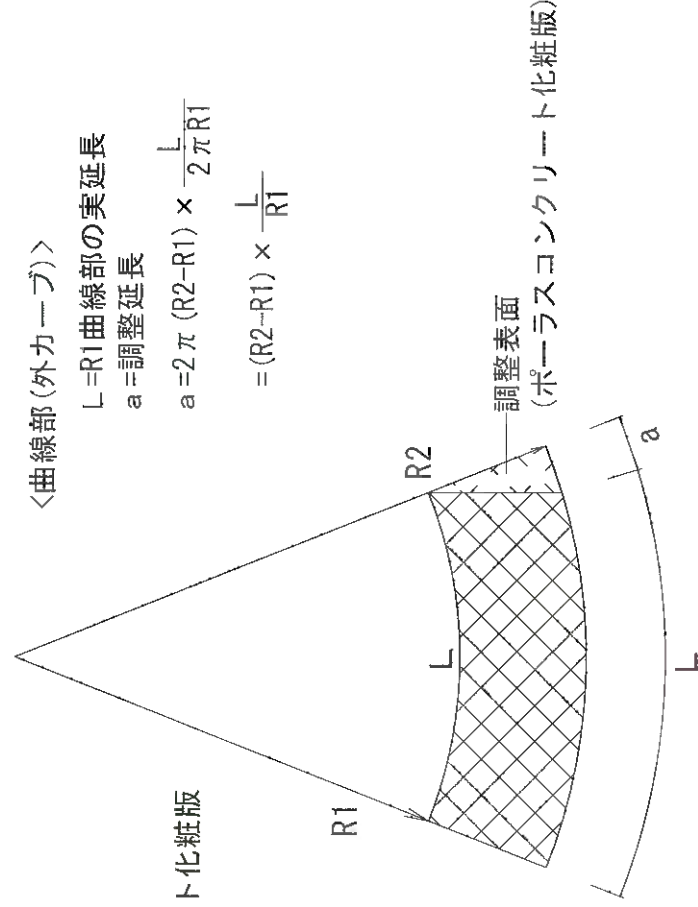
- ・小口止の表面及び曲線部の調整表面については、ポーラスコンクリートの化粧版で施工することができます。

<小口止>



<曲線部(外カーブ)>

$$\begin{aligned}
 L &= R1 \text{ 曲線部の実延長} \\
 a &= \text{調整延長} \\
 a &= 2\pi (R2 - R1) \times \frac{L}{2\pi R1} \\
 &= (R2 - R1) \times \frac{L}{R1}
 \end{aligned}$$



- ・内カーブの場合は、同様に調整延長はマイナス(-a)となります。